

令和4年度全国学力学習状況調査の結果分析等について

学校名	秦野市立大根中学校
-----	-----------

1 調査結果の分析と考察

本校の特徴	本校の課題
(1) 国語・理科については、短答式の正答率が高く、基礎的・基本的な問題を理解し、設問の意図を正確にとらえて解答できていることがわかります。数学については「データの活用」の中の「確率の設問」と「数と式」の中の「数量関係を文字を用いて表したり式の意味を読み取ったりする設問」の正答率がそれぞれ高くなっています。	(1) 国語については、一般的な読み物教材から離れた題材について考える点で課題が見られます。数学については、図形領域において、物事を論理的に考えて、筋道にそって証明をすることに課題が見られます。理科については、特に「生命」を柱とする領域において、知識や技能を活用して判断したり、考えを記述したりすることに課題が見られます。
(2) 国語については、読書好きな生徒が多く、読解力が身につけている生徒が多いです。数学・理科については、知識・技能の分野の問題が得意で、理科では特に「条件を制御した実験を計画できるかを問う設問」の正答率が高くなっています。	(2) 国語については、読解したものを、条件を満たして適切に書いて表現すること、数学については、関数領域において、具体的な事象から関数関係を見だし、利用すること、理科については、「分析・解釈」の視点や「検討・改善」の視点にそれぞれ課題が見られます。
(3) 国語については、教科に興味を持ち、問題を最後まで解こうと努力する意識が見られます。数学については、問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える生徒が多いということが分かります。理科については、教科に興味を持ち、観察や実験結果をもとに考察しようと努力する意識が見られます。	(3) どの教科も、将来社会で役に立つものとする意識が低くなっており、生徒にとって教科と実社会との結びつきが感じられていないことや、学習したことを普段の生活の中で活用しようとする意識が低いことに課題が見られます。

2 昨年度の取組の分析と考察

(1) 国語については、興味関心が昨年同様継続して高くなっています。一人一台のICT機器の導入により、これまで以上に広い視野で学習することができ、自分の考えを他者に伝える取組みができるようになったことが成果と考えています。一方で、自分の言葉で創造し表現する課題については、書く分野における正答率の低さや無回答率の高さから、授業の中で語彙力の獲得とともに、表現力を高める取組みが必要だと分析しています。
(2) 数学では、昨年に引き続き、立式されたものを計算し答えを求めることについては、意欲的に取り組み、努力することができています。しかし、数学的な事象をもとに考察し、まとめていくことについて苦手意識があるようです。ICT等を活用しながら、確率などの実験データを提示しながら物事を数学的に解決する能力を養っていきます。
(3) 1人1台のICT機器の導入を踏まえ、スマートフォンの使い方を含めた円滑なコミュニケーションの取り方を重点的に指導してきました。質問紙から、家庭での約束事を守れている生徒が多い一方、スマートフォンやゲーム等の利用時間が依然として長時間であることがわかります。今後も授業中のICT機器でのやりとりをはじめ、SNSの使用方法について指導を継続し、思いやりをもった意思疎通ができるように指導していきます。

3 教育水準の改善向上に向けた次年度の取組の方向性について

(1) 教科については、基本的な知識や技能は身につけているものの、それを進んで活用したり、自分自身の考えをもって、結果をじっくり分析し考察することなどに苦手意識があります。授業の中でこのような課題を解決するために、ICT機器を活用してじっくり考えを形成したり、他者の意見を共有したり、自分の考えを表現したりする場面を数多く取り入れていきたいと考えています。
(2) 授業や学校生活の中でChromebookを使った活動を積極的に取り入れ、ICT機器活用の特性・強みを生かすことで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、生徒の個別最適化された学び、創造性を育む学びを目指していきます。今年度「ICTの授業活用について～学習者の意欲向上～」をテーマに校内研究に取り組んでいます。研究成果を生徒に還元していきたいと考えています。
(3) 自己肯定感を高めるためにも、生徒同士がお互いを尊重し認め合う風土を醸成する必要があります。そのためにも道徳教育や人権教育の充実、行事を通じた豊かな人間関係の構築を目指します。具体的な手段として、対話的な学びの視点に立った授業改善を行うことで、様々な価値観や考え方に触れ、多様性を受け入れる感覚や相手に自分の考えを効果的に伝える力を養っていきます。

4 家庭・地域の方へのメッセージ

本校の学校目標は『自立と共生』で、目指す生徒像は「自己肯定感を大切にしながら、未来を拓き、創り、生きていき、人間力あふれる人を目指す」となっており、教職員一丸となって生徒の育成に努めています。今年度もコロナ禍の中で様々な制限がありますが、子どもたちは日々学校生活や、桜中祭運動の部や合唱の部といった学校行事等を通して、自身を大きく成長させています。今後も家庭・地域・学校が連携して子どもたちの成長を見守っていきたくと考えていますので、引き続きご支援ご協力をお願いします。
